

◎基本情報

事務事業名	なると観光ブランド化推進事業 (鳴門海峡の世界遺産化に向けて)		担当部署	経済建設部 観光振興課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業 期間	開始	平成 21 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると			終期
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり			
基本事業	1	観光ブランドづくり			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民及び観光客						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	広域エリアからの更なる誘客を図るため、「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産への登録を目指す取り組みを進めるなど、市内各観光地のブランド化を推進する。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会を中心に、民間の推進団体等と連携し、学術調査や普及啓発活動など世界遺産登録に向けた取り組みを推進する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		観光入込客数	2,450,000	2,500,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	協議会においては、文化・自然分野の学術調査を進め、基礎的調査の結果報告をとりまとめた。普及啓発活動として、世界遺産や渦潮に関する理解を深めるため「渦潮世界遺産推進フォーラム」(7月)や、「鳴門の渦潮展」(11月)を開催した。また、世界遺産登録に向けた機運醸成を図るため、「鳴門の渦潮」をテーマにポスター・俳句・書道作品を対象とした文化コンクールを初めて開催し、全国から2,286点の応募があった。日本遺産登録に向けた申請も行った。 市においては、AR(拡張現実)を使用したパンフレットを活用し、県内外でPRキャンペーンを実施するとともに、鳴門海峡と四国八十八箇所を巡る旅行商品の企画・造成に対する助成を行った。また、南あわじ市「島びらき」、本市の「渦開き」を共同開催するなど世界遺産化に向けた取り組みを推進した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 実施事業数	7	7	7	7	7	回
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	観光入込客数	1,939,747	1,968,150	-	-	-	人
	目標達成率(実績/目標)		78.7	-	-	-	%
今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況		未達成			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	3,000	3,000
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	3,000	3,000
		決算額	0	0	0	0	3,000	3,000
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
		1.0	0.1		7,337		10,337	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：なると観光ブランド化推進事業(鳴門海峡の世界遺産化に向けて)】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	2,313	3,000	3,000	3,000	3,000
	うち一般財源	30	3,000	3,000	3,000	3,000
	人件費	7,066	7,337	7,337	7,337	7,337
	総事業費	9,379	10,337	10,337	10,337	10,337

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		世界遺産登録が実現すれば、観光資源のブランド化につながり、鳴門公園を中心とした観光入込客数の増加が期待できる。
	効率性	B:概ね効率的だった		世界遺産登録を実現するためには、多くの課題を解決することが必要であり、官民が協働した長期的な取り組みが必要である。
②成果に対する評価	指標名	観光入込客数		優れた観光資源を有しているながら、ここ数年観光入込客数が伸び悩んでいる。
	目標	2,500,000	人	
	実績	1,968,150	人	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		目標を達成できていないが、前年度の入込客数より増加していることから、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	世界遺産の登録数が急増している状況を踏まえ、ユネスコにおいては世界遺産登録を各国1件ずつに制限しており、これまで以上に登録へのハードルが高くなっている。ユネスコや国等の動向を注視しながら、長期的な視野に立って取り組みを進める必要がある。 世界遺産登録への段階的な取り組みとして「日本遺産」や「ジオパーク」などへの登録も視野に入れて調査・研究する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	協議会においては、学術調査における基礎的調査結果報告を踏まえ、本格調査を実施する。また、協議会構成団体等とも連携し普及啓発活動を推進する。 市においては、県内外のキャンペーン等でPR活動を実施するとともに、鳴門海峡と四国八十八箇所を巡るツアーに対する助成を行い、機運醸成を図る。			
	H30年度	平成29年度の反省点等を踏まえ、事業の見直し・検討を行う。			